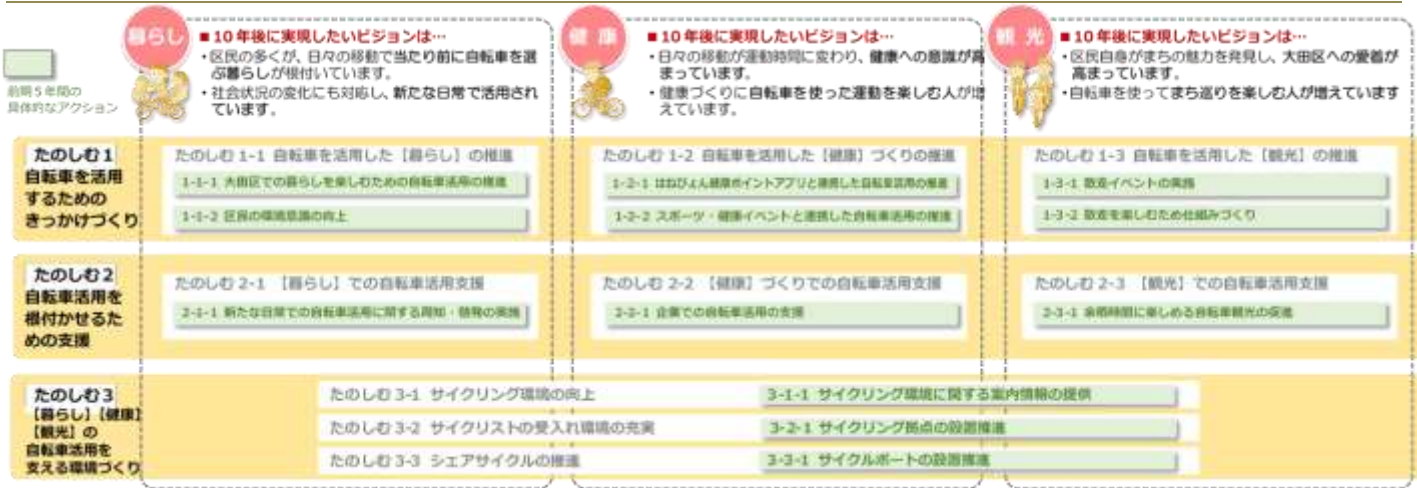


令和3年度 第1回 大田区自転車活用推進委員会について

- 「大田区自転車活用推進委員会」（以下「委員会」という。）は、**暮らし、健康、観光の視点**から、大田区での自転車活用のあり方、方向性を検討するものです。
- 委員会での検討内容と、「大田区自転車等駐車対策協議会」で協議する「**とめる・はしる・まもる**」の**視点**を合わせ、現行の自転車等利用総合基本計画を発展させながら、次期計画の策定を進めます。
- 令和3年6月24日（木）に開催した令和3年度第1回委員会では、先行施策の実施状況と計画の評価指標に関する議論を行いました。

■ 自転車の活用推進を支える【たのしむ】の枠組み



■ 3年目を迎える先行施策の取組み

①「はねびん健康ポイントアプリ」との連携

自転車でもちを回ってみたら、意外と楽しい！
もっと自転車で使ってみても、良いかもね！

アプリに「自転車」の情報がある！

先行施策として行うことは…

- ①アプリの利用推進
- ②自転車活用に関する情報提供

●【自転車による健康づくりへの興味】を高める情報コンテンツの拡充

●【ニュース】ページを活用し、年4回程度発信
 [7月21日配信]カラダもココロもリフレッシュ！楽しい自転車ライフ始めてみませんか？
 [9月27日配信]あなたの自転車は安全？お出かけ前にセルフチェック！

②散走の試行実施

みんなで話し合っ、「大田区ならではの」自転車の魅力を考えてみることに。

観光・遊び スポーツ・健康 買い物・通勤

実際にみんなで散走してみ、「新たな魅力」や「足りない部分」を見つけること。

走りやすさ トイレ・休憩

先行施策として行うことは…

- ①散走ワーキングの実施
- ②「散走マップ」づくり

令和2年度の散走の様子

③「商店街」をメインテーマとして散走を試行実施予定

●令和3年度は蒲田から糀谷、羽田空港にかけて、商店街をめぐりながら散走を実施予定（11月予定）

④スポーツ・健康イベントとの連携

スポーツイベントで、色々なスポーツが体験できるみたい！
家族みんなで歩いてみよう！

現状では、イベントとの連携が無く、「他スポーツ」と「運動になる自転車移動」がマッチングしていない状況！

先行施策として行うことは…

- ①スポーツ・健康イベントでの自転車活用の周知
- ②会場でのシェアサイクル活用

令和2年度の区民スポーツまつりでのパネル展示

⑤区民・企業への自転車活用PR

●令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、今後の取組み（アンケート等）を検討・調整

■従業員個人の認識
 自転車通勤や健康づくりをしてみたいと思うけど、始め方も分からない…
 どうやって始めるの？
 会社の制度は大丈夫？

■会社・組織の認識
 自転車活用は、社員の健康づくりに本当にメリットはあるのか？
 事故などリスクの方が多いため…

先行施策として行うことは…

- ①おおた健康経営事業所への継続した周知・連携検討

【開催日時・場所】

日時：令和3年6月24日（木）
 午前10時から11時30分まで
 会場 蒲田地域庁舎5階大会議室※
 ※WEB会議システムによるハイブリッド形式



【報告】

- ①計画策定スケジュールについて
- ②前回までの自転車活用推進委員会の振り返り

【議事】

- ①先行施策の実施状況について
- ②計画の評価指標について

■ 主な意見

先行施策の実施状況について	
1	・今年度も散走をやるようであれば、ぜひ商店街としても参加させていただきたい。
2	・自転車店をはねびん健康ポイントアプリのスタンプスポットに追加したらいいのではないかと。 ・散走の実施エリアについては、羽田エリアなど、違うエリアの実施も検討いただきたい。 ・企業向けの自転車活用PRについては、今後、特典も検討してはどうか。
3	・はねびん健康ポイントアプリは、自転車を利用するとき、ながら運転をする危険があるので、健康のことだけでなく、交通ルールも守っていけるような取組みが重要だと思う。
計画の評価指標について	
1	・シェアサイクルの認知度は、できるだけ区民が使いやすい場所にポートを設置することによって変わってくると思う。 ・観光としてシェアサイクルを伸ばしていくのであれば、スポーツ車やチャイルドシート付きの自転車にするなど、カテゴリーを増やしていくと、利用率も上がっていくと思う。
2	・新型コロナウイルスには治療薬がまだないので、暮らし、健康、観光のうち観光については感染状況に応じて下方修正をすることも考えておいた方がいいと思う。
3	・自転車活用に関する取組みはソフト施策が多く、MaaS、自動運転などの外的要因に左右される部分があるので、目標として掲げるのはいいが、数値に固執しないような進め方をしていただきたい。 ・暮らし、健康、観光でそれぞれ評価指標を立てているが、暮らしはこの指標、健康はこの指標、観光はこの指標と頭出しをしなくていいのではないかと。
4	・最終目標と指標の両方が目標という言葉で使われている。最終目標として目指していく方向性はこれまでも議論してきた。ベースを共有し、そこに向かっていくことが重要だが、数字の議論になっている。 ・委員会としての方向性はかなり議論され、ある程度まとまってきたが、数値目標、KPIを示したときの数字の取り方や設定の仕方については、まだ十分に共有できていなかった。 ・目標値の数字だけを目指しているわけではないということは、はっきりとさせてほしい。 ・新型コロナウイルスの状況など、様々なアンノウンファクターがある中で進めていくので、どこかに付記しておくことが必要である。